

令和4年度事業報告

1. 子ども読書推進事業

(1) 子どもの読書推進活動支援事業

子どもの読書を推進する取組みの裾野を広げる活動を支援することにより、子どもの夢や想像力、豊かな感性を育み、子どもの健全育成を図る。

【執行状況】	[助成対象]	県内で子どもの読書推進活動を行う民間の団体・グループ、民間が管理運営する文庫
	[助成金額]	1団体15万円以内の活動費
	[事業期間]	令和4年6月21日～令和5年2月28日
交付決定日	助成金決定団体数(応募団体数)	助成総額
令和4年6月21日	7団体(10団体)	641,209円

団体名	助成金額 (単位:円)	活動内容
415(よいこ)のわ (琴平町)	30,000	本の貸出しを行ったほか、家庭で読書を楽しめるような文庫活動を行った。また、未就学児親子を対象とした絵本を充実させ、読書体験のサポートを行った。 参加者:延べ480名
朗読グループどんぐり (さぬき市)	150,000	地域の子どもたちに文庫を開放し、定期的な読み聞かせを行ったほか、出前の読み聞かせ活動や、文庫まつりを開催した。 参加者:延べ130名
本と生きよう!読書運動 (まんのう町)	19,891	「本と生きよう」おはなし会の開催や、「心にあかりを灯す本」をテーマにした展示を行った。また、子どもたちが自分の経験したことを物語にして、お話に親しむ取組みとして、手作り絵本講座を実施した。 参加者:22名
三谷地区コミュニティ協議会 (高松市)	150,000	未就学児への定期的な読み聞かせを行ったほか、季節行事や作品作りを行った。 参加者:延べ20名
ひだまり文庫 (高松市)	30,000	本の貸出しや紹介といった文庫活動のほか、認定こども園へ出向いて定期的な読み聞かせを行った。また、高松市中央図書館でおたのしみ会や、読書まつりで読み聞かせなどを行った。 参加者:延べ240名

おはなし紡ぎの会 (高松市)	111,318	香川県立図書館や高松市香川図書館で、未就学児親子や小学生を対象にしたお話会を定期的に開催したほか、保育所に出向いて定期的な読み聞かせなどを行った。 参加者：延べ480名
高松大学読み聞かせ隊 (高松市)	150,000	郷土の伝統文化・産業・賢人に関連したオリジナル紙芝居を制作し、お話会等で実演した。大学祭で絵本の読み聞かせや紙芝居などの実演を行ったほか、高松市中央図書館や高松市こども未来館でお話会を開催した。 参加者：延べ352名

2. 提案活動支援事業

(1) 学生による企画提案活動支援事業

学生自らが企画・提案する子どもの自発的な活動をサポートする事業を支援することにより学生の自主性、積極性、創造性等を高め、次代を担う青少年の育成を図る。

【執行状況】	[助成対象]	県内の大学、短期大学、専修学校専門課程、高等専門学校及び高等学校に在学する学生3名以上、かつ監督者として支援教員、青少年育成支援コーディネーター及び青少年育成支援スーパーバイザーのいずれか1名以上で構成されるグループ
	[助成金額]	1団体15万円以内の活動費
	[事業期間]	令和4年7月1日～令和5年2月28日
交付決定日	助成金決定団体数（応募団体数）	助成総額
令和4年7月1日	7団体（9団体）	903,975円
活動名称 (学校名・団体名)	助成金額 (単位：円)	活動内容
ーみんなで楽しむ音楽鑑賞会ー 第16回わくわくコンサート (香川大学・第16回わくわく コンサート実行委員会)	150,000	演奏会に行く機会に恵まれない子どもたちや保護者に、音楽に親しむ機会を創出する目的で始まったコンサートを行った。第16回のテーマは、「――'Recovery (回復・復活)'――」。参加者：1,100名
げんき村15丁目わんぱく通り (高松大学・げんき村15丁目 わんぱく通り)	149,000	地域の幼児や児童に楽しんでもらえる遊びを創造し提供することを目的として、様々な催し物を企画・製作・運営した。要請に応じて学外で「出張げんき村」の活動も行った。参加者：延べ1,556名
生活文化にふれよう！ ー“デコって楽しい香川のクリスマスワンプレート”ー (香川短期大学)	150,000	地域の児童を対象として調理実習を中心とした食育活動を企画・実施した。今年度は、「生活文化にふれよう！」と題し、地産地消についての学習会とクリスマスをテーマにした調理実習を実施した。参加者：75名
ハイブリッド型みとよロボコン 2022の開催 (香川高専 詫間キャンパス TEAM ARK)	149,800	小・中学生を対象としたロボットコンテストを開催した。事前にロボット製作のアドバイスを遠隔で行い、当日は、新型コロナウイルス感染症対策を十分行ってコンテストを対面開催した。今年度は、小・中学生部門(ビギナークラス、ハイレベルクラス)にガールズクラスを追加した。参加者：72名

<p>絶滅危惧種カワバタモロコの 保全と子どもたちを対象とする いきもの観察会 (香川県立高松桜井高等学校 理学部)</p>	<p>150,000</p>	<p>太田中央公園のせせらぎ水路で、自然環境の調査や観察学習会を行うとともに、絶滅の恐れが高いカワバタモロコの保全移植を地域の子どもたちと一緒に取り組んだ。 参加者：延べ64名</p>
<p>※夏だ！集まれ！自然観察会！ (香川県立高松西高等学校 理学部生物班)</p>	<p>16,575</p>	<p>高松西高等学校生物教室で、地域の小学生を対象として、紫キャベツ、黒豆を使用した pH 実験や、土壌生物の観察、生き物クイズ、指標生物の説明を行った。その後、香東川御殿橋下に移動し、生き物が住む場所や取り方を教えながら生物調査を行った。 参加者：延べ27名</p>
<p>※坂出工業高校 × 古街の ひとびと (香川県立坂出工業高等学校 建築部)</p>	<p>138,600</p>	<p>古街の活性化と保存の実現に向けたイベントを開催した。イベントを通してこれからの時代を担う子どもたちに日本の古き良き伝統である古民家や古街の街並みについて知ってもらい、伝統を残していく意義と守る立場を自覚してもらった。 参加者：延べ70名</p>

※令和4年度新規助成団体

3. 青少年健全育成啓発事業

(1) 青少年健全育成研修事業

①研修(講演)会事業

青少年健全育成に関する研修(講演)会を開催し、青少年健全育成活動のリーダーを養成する機会を提供した。

【執行状況】

開催日	令和4年6月2日(木)
会場	香川県社会福祉総合センター コミュニティホール(高松市番町) (ハイブリッド型)
参加者数	会場 84名・オンライン 30名
内容	講師 教育アドバイザー 下地 敏雄 氏 講演 「夢と人」

開催日	令和5年1月21日(土)
会場	香川県社会福祉総合センター コミュニティホール(高松市番町) (ハイブリッド型)
参加者数	会場 83名・オンライン 27名
内容	講師 名古屋大学大学院 辻 浩 教授 講演 「子ども・若者の支援と地域・学校・職場の連携」

(2) 青少年健全育成啓発事業

①「子供・若者育成支援推進強調月間」(令和4年11月)に合わせ、「輝く未来 育て支えて見守って」のチラシを作成し、市町や少年育成センターに配布し、広報・啓発活動を行った。

②県内企業の魅力を知ろう

県内の魅力ある企業を紹介することにより、働くことやふるさとへの理解を深める機会を提供した。

【執行状況】

実施日	令和4年7月26日(火)
実施場所	オンライン開催
対象者	小学3～6年生
参加者数	12名
内容	企業説明・質疑応答 ・穴吹エンタープライズ株式会社 ・今治造船株式会社 ・株式会社サンテック ・一般財団法人少林寺拳法連盟 ・高松帝酸株式会社 ・テーブルマーク株式会社 ・株式会社百十四銀行 ・株式会社マキタ ・ユニ・チャームプロダクツ株式会社

4. 体験活動事業

(1) ふるさと体験ツアー

県内の伝統工芸や企業などについて、学び、体験することにより、ふるさとへの理解を深める機会を提供した。

【執行状況】

実施日	令和4年8月26日(金)
実施場所	株式会社フソウ(高松市郷東町)、香川県漆芸研究所(高松市番町)
対象者	小学3~6年生
参加者数	19名
内容	<ul style="list-style-type: none">・株式会社フソウ 工場見学・香川県漆芸研究所 作品制作

(2) 国際交流事業

英語を用いた交流活動を通して、音声やリズムに慣れ親しみ、異文化を理解し、外国人と関わる積極性や協調性を育み、楽しんで外国語を学ぶ機会を提供した。

【執行状況】

実施日	令和4年12月18日(日)
実施場所	香川国際交流会館(アイパル香川)(高松市番町)
対象者	小学3・4年生
参加者数	54名(午前の部 29名・午後の部 25名)
内容	<p>○クリスマス・イングリッシュ・アクティビティ</p> <ul style="list-style-type: none">・自己紹介・クリスマスにちなんだ英語ゲームをしよう・クリスマスソングを鑑賞しよう・各国のクリスマスの話を聞こう・クリスマスカードを作ろう

(3) サバイバルキャンプ

30年以内に70%から80%の確率で南海トラフ大地震が発生するといわれており、その対処に必要な知識や避難行動を取る力を身に付ける機会を提供する事業。

【執行状況】

実施日	令和4年8月19日(金)～21日(日) ⇒ <u>中止</u>
対象者	小学4～6年生
募集者数	24名
特別協賛	公益財団法人松平公益会
内容	<ul style="list-style-type: none">・防災についての学習・火起こし・ロープワーク・救命処置・避難行動等
中止理由	令和4年度は、7月に新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の増加が続き、8月もさらに増えることが予想されたため、参加者全員が毎朝「抗原検査キット」を使用して感染しているかどうか確認することを検討したが、日本ボーイスカウト香川連盟や香川県看護協会から現地で正しく抗原検査を行うことは困難との意見があり、事業を中止。

(4) プログラミング講座

情報社会で重要なプログラミングを体験しながら、論理的思考を身に付ける機会を提供した。

【執行状況】

実施日	令和4年9月10日(土)
実施場所	情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)(高松市サンポート)
対象者	小学4～6年生
参加者数	11名
内容	<p>○ロボットプログラミングに挑戦!</p> <ul style="list-style-type: none">・プログラミング教材を使ったロボットプログラミング体験・自動車ロボットを前後左右に動かす棒倒しゲーム